

令和5年度（2023年度）

学校をよりよくするために

アンケート集計結果まとめ

保護者の皆様

令和6年2月1日
(2024年)

千里みらい夢学園
吹田市立桃山台小学校
校長 井波 治男

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動ならびに、千里みらい夢学園小中一貫教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、「学校をよりよくするために」のアンケートには、多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの集計結果については、今年度の本校の教育活動についての成果と課題を検証する資料とさせていただくとともに、小中一貫教育の充実と推進のための資料とさせていただきます。

今後とも、本校の教育活動、並びに千里みらい夢学園の小中一貫教育の充実のために、保護者の皆様には、よりよき理解者、またよきパートナーとして、引き続きご支援、ご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

なおアンケートの集計結果については、本校ホームページに掲載いたします。



1. 児童アンケート ◆考察◆

○「学校にいて安心できますか」では肯定的回答が90.8%と昨年度昨年度並みでした。安心して過ごせるということは、子どもたちが毎日通い、長い時間を過ごす学校にとって、絶対に必要な条件だと考えています。引き続き100%を目指して取り組んでまいります。

○「学校は楽しいですか。」の肯定的回答は92.2%、「学校行事は楽しいですか。」の肯定的回答は93.6%で、いずれも昨年度より2ポイント増加しました。コロナが5類となり、ほとんどの行事を実施することができるようになりました。そのせいもあってか多くの児童が学校生活が楽しく行事にも満足していると捉えていますが、1割弱の子どもたちが、あてはまらないという意見や無回答になっています。ほとんどの児童が楽しくやりがいを感じている授業や行事でも、不安やプレッシャーを感じる児童もいます。その存在を常に意識して、現状に満足せず、どの子も安心でき、楽しいと感じられる授業づくりや負担を軽減しつつ、やりがいのある行事づくりに引き続き取り組んでまいります。

○「先生は私の話をよく聞いてくれる。」では肯定的回答の平均が96.3%と昨年度より3ポイント増加、「先生は困っているときに助けてくれる。」でも肯定的回答の平均が94.2%と昨年度より1.5ポイント増加しました。一方「担任の先生のほかにも、話を聞いてくれる先生がいる。」は、肯定的回答の平均は79.6%で昨年度並みでした。学級担任だけでなく、どの教員にも気軽に話や相談ができることは、安心して通える学校づくり、居場所づくりのためにとっても重要です。今後も職員全体で子どもたちを支えていきたいと思ひます。

○「がんばったことは、先生に認められたりほめられたりしている。」では肯定的回答の平均が91.4%で2.4ポイント増加しました。子どもたちの話に耳を傾け、がんばっている姿を認め励ますことは教員の仕事の原点であり、子どもたちの自己肯定感、有用感を高めるために極めて重要です。さらに高い目標に向けて取り組みを続けていきます。

○「先生の授業はわかりやすい。」では、肯定的回答の平均が96.3%と昨年度より3ポイント増加しました。ほとんどの児童が分かりやすいととらえている一方で「授業中、分からないことがあれば質問していますか。」では、肯定的回答の平均が75.6%となっており、昨年度より4.6ポイント減少しました。分からないことがあってもそのままにしている児童が少なくありません。質問する力を育てるとともに、質問しやすい雰囲気作りに努めてまいります。

○「クラスにいると楽しい。」では、肯定的回答の平均が1ポイント増加し、94.0%と昨年度より1.5ポイント増加しました。さらに100%目指して、全ての子どもが、安心して楽しく過ごせる集団づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

○「クラスでいろいろな話し合いができています。」では、肯定的回答の平均が3.5ポイント増加し94.6%でした。本校の授業研究のテーマである「知りたい、話したい、伝えたい」ー自ら学ぶ みんなで学ぶ授業づくりーに沿って、授業では日ごろからペアやグループでの話し合い活動を取り入れたり、お互いの考えを交流したりする場を大切にしており、その成果が出た結果となりました。今後も継続して取り組んでまいります。

○「学校で自分や友だちを大切にするための学習をしている。」では、肯定的回答の平均は昨年度並みの95.2%でした。学校では、道徳の時間はもちろん全ての教育活動を通じて、自分を大切にすると同時に友だちのことも尊重する教育を進めています。

○「給食を好き嫌いなく食べていますか。」では肯定的回答の平均が88.8%と昨年度より2.5ポイント増加しました。給食調理が業者委託となり1年が過ぎましたが、2年続けて前年度よりも良い結果となりました。調理スタッフの方々の励みになることと思ひます。これからも安全で美味しい給食の提供を心掛けてまいります。

2. 保護者アンケート ◆考察◆

全般を通して昨年度同様肯定的な回答を多くいただきました。昨年度と比べても多くの項目で肯定的回答の比率が高くなっております。日頃より保護者や地域の皆様が本校教育活動に対してご理解をいただき、温かく見守ってくださっている様子を伺うことができ大変感謝しております。以下の考察をご覧ください。

○問6「学校だよりや学年だより等で、学校の教育方針をわかりやすく伝えている。」は、肯定的回答が93.9%で昨年度より2.5ポイント低く、問7「学習の内容や進度等を、懇談や学年（学級）通信などによって、知ることができる。」では肯定的回答が90.5%で、昨年度並みの結果でした。今年度は学校ブログで学校生活の様子をお伝え出来なかったため情報発信が不足しておりました。次年度に向けて改善していく予定です。

○問8「学校は保護者が参観する機会をよく設けている」では肯定的回答が95.1%と、昨年度より2.5ポイントと大幅に増加しました。学校公開や運動会の全校実施、音楽会の公開など、コロナ禍で見合わせていた行事を実施することができた結果だと思われま。また問9「家庭訪問や個人懇談など保護者と話す機会を多く持っている。」も81.4%と昨年度より1.3ポイント増加しました。参観や個人懇談、学校公開など、今後もできるだけ子どもたちの様子をご覧いただけけるよう取り組んでまいります。

○問11「子どもは授業がわかりやすいと言っていますか。」では肯定的回答が91.0%で、昨年度並みの結果でした。本校では、子どもが「自ら学ぶ みんなで学ぶ 授業づくり」を目標に研究授業や校内研修に取り組んでいます。今後も基礎学力を保障しながら、子どもたちが自ら学びに向かう姿勢を育むよう研究をすすめてまいります。

○問12「あゆみは、学力や子どもの学習の状況がわかりやすい。」では肯定的回答が94.0パーセントで2年連続5ポイント増加しました。あゆみの評価方法は一定の学習目標に到達しているかどうかについて評価する絶対評価で行っております。あゆみの表記については学習内容やねらいができるだけわかりやすくなるよう、毎年見直しを行っています。これからも気になることやわかりにくいことがあれば、いつでもお尋ねください。

○問13「子どもの能力や努力を適切に評価している。」は肯定的回答が92.7%と昨年度並みでした。結果ではなく取り組む過程での頑張りを評価することが次への意欲につながります。これからも子どもたちの励みとなるよう適切な評価を心がけてまいります。

○問14「子どものことについての相談に適切に応じている。」92.8%、問15「子どもの間違った行動に対し、適切に指導している。」93.9%とどちらも昨年度並みの結果でした。学校という集団生活の中では思い通りにならない場面も多く、叱られる場面もあります。時には学校に行くことに不安を感じることもあるかもしれません。学校と保護者の方が連携して、早期に適切な対応をすることで、大きな問題に発展することを未然に防ぐことにつながります。気になることがあれば遠慮なくご相談ください。

○問17「学校はいじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。」では、肯定的回答が91.1%と昨年度より2.6ポイント減少しました。また、問18「学校は互いを認め合い自分や友だちを大切にする学習をしていますか」では、肯定的回答が95.9%と昨年度並みでした。学校では、毎学期実施している「生活アンケート」をはじめ、全教職員が児童の日常に気を配り、いじめの兆候を早期発見できる学校づくりを目指しています。しかし、アンケートや日頃の様子では気づかないこともあり、保護者の方からの情報も極めて重要です。少しでも気になることがあれば、必ず学校へお知らせください。

○問20「学校はものが壊れたらすぐに修繕するなど施設・設備の整備に努めていますか。」では、肯定的回答が77.4%と昨年度より7ポイントほど低い結果でした。学校で対応できる修理・修繕は日々実施していますが、対応が困難なものは、市に要望し、順次営繕補修を依頼しております。

◎記述式でいただいた主なご意見と回答

・トイレについて

「学校のトイレが汚いから行きたくないと言っている。改善してほしい。」

→同様のご意見を多数の方からいただきました。トイレについては一部が設備の経年劣化によるもの。また一部には衛生的な問題があると認識しています。設備については市の方へ継続して要望しておりますが、早期の改修は難しい状況です。日常の清掃については児童が中心に実施していますが、使用頻度に対して清掃が行き届いていないことがあります。現在児童の清掃用具について、より衛生的で児童が使いやすい形への変更を検討しています。少しでも気持ちよく使えるよう、学校でできることを考えてまいります。

・音楽会の保護者観覧について

「音楽会の公開は良かったが、保護者の入れ替えや待機の方法を改善してほしい。」

→これも多数の方からご意見をいただきました。音楽会の保護者の方への公開を再開できたのは良かったのですが、誘導係の人員を確保できなかったことや、予想以上にたくさんの方にお越しいただいたことで、混乱を招いてしまいました。今回のことを教訓に次年度に向け実施方法を検討しております。大変ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。

・配付物のデータ配信について

「学校からの配付物を全てデータで配信してほしい」

→複数の方よりいただきました。保護者の方向けの配付物については、さくら連絡網を使ったデータ配信について、今後も発展的に活用してまいります。

・このアンケートについて

「改善に役立ててほしい」「記述内容にも回答すべき」

→学校教育アンケートの結果は教育活動の改善のため参考にさせていただいております。引き続き忌憚のないご意見をいただきますよう、ご協力をお願いします。